

みんなの鳥獣対策

ワイヤーメッシュ柵と電気柵を使用したサルの侵入対策について、
町内の農家の事例などをご紹介します。

佐藤さん家族に聞きました



一男さん

維久子さん

寛晃さん

平成30年から、近所の人の畑を借りて家庭菜園を始め、
トウモロコシ、エダマメ、トマトなどを栽培しています。

対策しようと思ったきっかけ

2、3年前にイノシシが畑に出没し始めたことをきっかけに、ワイヤーメッシュ柵（以下WM柵）の上に電気柵を併設した複合柵で畑を囲いました。

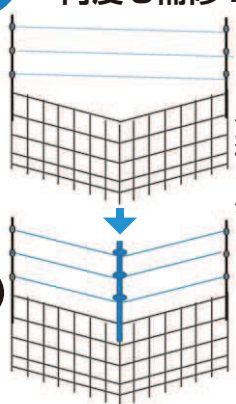
被害にあった作物

作物のほとんどが食害に遭い、近所に配れるほどの収量を見込んで栽培していましたが、家族分の収穫だけになってしまいました。中でもトマトの被害が一番深刻でした。近所の評判も良く、酸味のある美味しいトマトが作れていたのでも残念でした。



すき間を見つけ 何度も補修！

×



すき間を減らすため、
支柱を足す



対策方法と成果

学習能力の高いサルに恐怖を覚えさせるため、電気柵に触れさせる工夫をしました。きっかけは、被害が減らず苦戦した時に、サルがWM柵のすき間から侵入している所を発見し、電気柵まで登っていないことがわかったためです。WM柵にすき間ができないようにするためにどうすればよいか考え、市販の獣害ネットを張り、何度も補修をしました。



WM柵の上のすき間をネットでふさぎました。

今後の意気込み

サルの被害が起らないように、引き続き防護柵の点検と補修を行い対策していきたいです。

野菜の栽培は、やはりトマトに力を注いでいきたいと考えています。消毒をしない製法にもこだわりがあります。少し酸味があり香りがよい自慢のトマトを、今よりも多く栽培し、近所にも広めたいです。

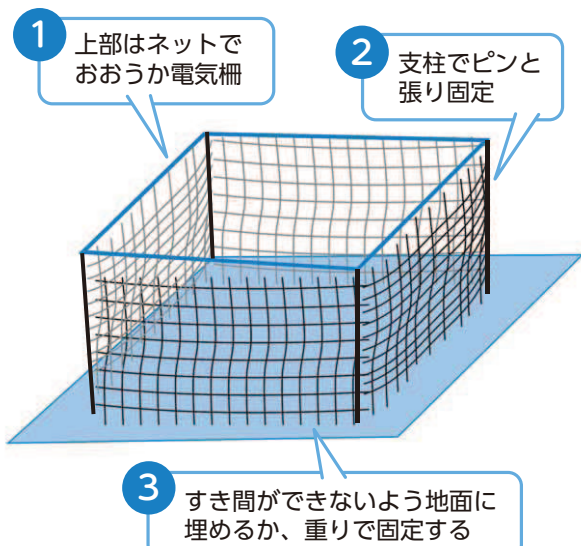
センサーカメラで二週間ほど経過を確認したところ、すき間からの侵入はなくなり、電気柵に接触する個体が増えました。その後も電気柵本体の不調や電源の入れ忘れで侵入を許したことはありませんが、侵入を大幅に減らすことに成功しました。



鳥獣対策に使用されるネットの例

種 類	獣 種	網目サイズ	特 徴
防鳥ネット(大)	カラス	10cm×10cm	小鳥は侵入可能。
防鳥ネット(小)	ムクドリ スズメ	2cm×2cm	小鳥も防げるが、カラス対策のものに 比べ単価が高い。
獣害ネット	サル	2cm×2cm	動物の爪が入るため、タヌキやキツネに 切られる可能性あり。
トリカルネット	アライグマ ハクビシン タヌキ	2cm×2cm	頑丈な樹脂製ネット。単価が高い。
防風ネット	アライグマ ハクビシン タヌキ	2mm×2mm	動物の爪や歯が入らず、切られない。 風の抵抗を受けやすい。

ネットを地面に 直接設置する際のポイント3つ



過去の関連記事



獣種の侵入経路と対策
広報なみえ2024年2月



漁網ネットを使った対策
広報なみえ2023年8月

鳥獣被害に関するご相談はWEBで

鳥獣被害や対策相談、捕獲依頼に関するお問合せはWEBフォームから連絡できます。町内の鳥獣被害の最新情報を反映するために活用されます。



連絡用
フォーム

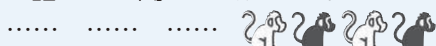


被害状況
確認フォーム



町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



問 農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページ
でもご覧いただ
けます